

『秋』

日中の日射しも弱まり、日の暮れるのが早くなりました。音もなく散る落葉の風情にも、秋の深まりが感じられます。

十一月は霜月、こよみの上では八日は立冬です。季節は晩秋から初冬へと移っていき、朝晩の冷えこみは日一日ときびしくなります。

取入れや冬の準備に忙しいことと思いますが、カゼなどひかないよう注意して働いてください。



十一月の

こよみ

8日(金)	民生委員会
11日(木)	婦人会会長
14日(木)	和牛登録検査(14日、15日)インフルエンザ(田代小)
15日(金)	養蚕研修 インフルエンザ(大原小、中)
19日(火)	教育委員会
21日(木)	百日ぜき、ジフテリア注射(21日、22日)
23日(土)	勤労感謝の日
26日(火)	インフルエンザ(田代中)
27日(水)	農業委員会
28日(木)	インフルエンザ(田代小)
29日(金)	インフルエンザ(大原小、中)



たばこ収納日が決まりました。
12月5日・10日



本年度の茶業振興会は、去る十月二十五日農協ホールで開かれ、四十八年度決算、四十九年度事業計画、及び予算、規約改正等の審議、並びに役員改正等が行なわれましたが、新会長に鍋光磨氏（再任）、副会長に川前正郎氏（新任）が選ばれました。

当日は、県茶市場の赤野三郎氏から、「本県茶業の現況と、今後の方向について」と題する講演がありました。その要旨は次のよう

販売額一億円突破を目標に 茶業振興会開催

本年度の茶業振興会は、去る十月二十五日農協ホールで開かれ、四十八年度決算、四十九年度事業計画、及び予算、規約改正等の審議、並びに役員改正等が行なわれましたが、新会長に鍋光磨氏（再任）、副会長に川前正郎氏（新任）が選ばれました。

表木山ノ口線の舗装工事は、延長一、〇二〇m、巾員四mで、勾配の修正と拡巾を主として、工事費八十七万円で三共建設により、岩崎小梅校線改良工事は、延長六五九m、巾員四mで勾配の修正と拡巾を主として、工事費八十七万円で田代建設により、それぞれ工事が進められていましたが、このほど、両線とも工事が完成しました。



町道 表木～山ノ口線

町道 表木・山ノ口線 岩崎・小梅枝線 道路工事完成

大原小学校 健康優良学校として 全国表彰

大原小学校は、今回、朝日新聞社の主催する健康優良学校として、全国表彰を受け、11月3日、東京において行なわれた表彰式に、図師校長と児童代表の加治佐桃子さんが出席されました。

土地や建物を売ったときの利益を「譲渡所得」といいます。この「譲渡所得」に対する税金は、他の所得と切り離して計算することになっていきます。また、売った土地や建物を持っていた期間によって、長期譲渡所得と短期譲渡所得に区分してそれぞれ違った方法で税金を計算します。

土地や建物を 売ったとき

鹿屋保健所大根占支所が廃止
大根占支所が廃止
十月十一日で廃止されました。また、相談日は、旧大根占支所において次のとおり変更になりました。

1、母子健康相談
毎週金曜、13時～14時
2、一般健康相談
毎週金曜、13時～14時
3、諸試験検査検体持参日
（水質、業態者検便）
水質試験、毎週月曜14時まで。
業態者検便、毎月、第二月曜14時まで。



地域振興審議会が 町長へ意見書提出

田代町地域振興審議会は、昨年十二月発足しました。委員は、議会、農業委員会等の行政機関、及び、農協、森林組合、商工会等の各種団体、並びに青年団、婦人会、農林商工業の自営者等の代表三十四人で構成され、本年一月から田代町の振興について、あらゆる角度から自主的な調査研究を進めると共に、その間、開発先進地等の視察も行い、その結果として今回、次のような意見書が、町長宛、提出されました。

町は、この意見書の趣旨を尊重して、関係当局へ、新大隅開発計画促進方の要望をいたしました。

〆田代町地域振興に関する意見書

本審議会は、過疎と貧困に悩む地域の振興について本年一月以降、自主的に且つ自由な立場で今日まで調査研究を進めてきたが、現在、町が進めている過疎計画だけでは、人口の流出と経済的貧困から脱却することは、極めて困難でありこの際、地域を越えた抜本的対策として、県が計画している新大隅開発を勇断を以て、速やかに実施すべきであるとの結論に達した。

よって町当局は、次の諸点に充分配慮を加えた、新大隅開発計画の、早期実現をはかられるよう格段の努力を要望します。

1、背後地に当る本町の地域が、開発による波及効果を享受するためには臨海地と大隅半島中央部を縦断し、佐多町に至る高速道路の開設計画が最も重要にして且つ、緊急を要する施策であると考えられるので、これの実現を強力に推進して戴きたい。

2、開発の起爆力として、石油精製工業の誘置には賛成であるが、農工商全

の立場に立った開発を実現するため、地域の農林業の振興をはかると共にこれと関連する食品コンビナートの誘置も実現して戴きたい。

3、臨海工業地の造成に当り、一部国定公園の指定解除も止むを得ないと考えるが、関係地域の環境保全と公害防止には、万全の対策を講じて戴きたい。

大隅開発賛成九〇％

開発先進地視察者アンケート結果

大隅開発計画については、去る、昭和四十七年に一次試験が発表され、賛否両論が沸騰して現在に至っていますが、冷静な判断をするためには、現地の視察が大切であるとの考え方から、先般、開発先進地の視察を実施しました。

視察の参加者は、地域振興審議会委員、役場職員、一般町民等四十三人で、視察地は大隅半島工業地域でした。視察終了後、視察参加者に対して、アンケート調査を実施しましたが、結果は次のようで、大隅開発推進については、九〇％の人々が賛成していますが、波及効果、石油精製工業誘

置、公害防止等には多少の批判的意見がありますが、大部分の人々が積極的な意見を持っていることがわかります。

〇開発先進地視察結果アンケート

1、今回の視察は、過疎と貧困に悩む大隅地域の開発を目的とした、新大隅開発を研究するため実施したものです。視察してどう考えましたか。

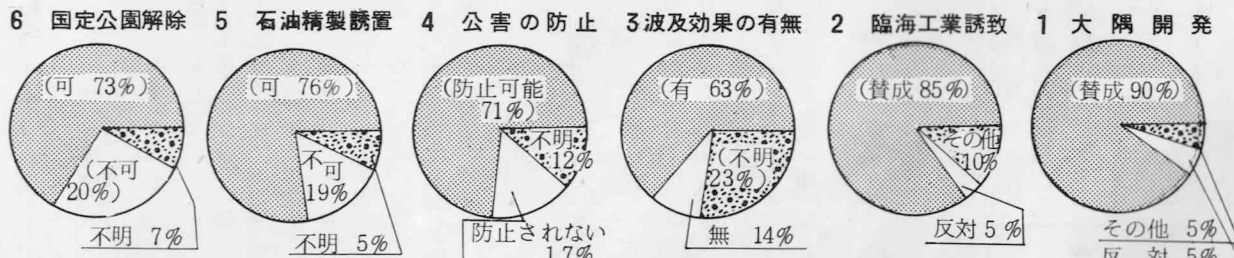
2、大隅開発は大隅地域の産業、文化、交通等の総合開発計画であります。その起爆力として志布志湾に大型臨海工業の誘置を計画していますが、これについてどう思いますか。

3、上記に関連して、臨海部に工業が立地すると臨海部だけでなく、田代町のような背後地にもその波及効果があるといわれていますが、あなたは、どう考えますか。

4、今回、視察したのは石油精製工業でしたが、現在、公害防止は段階に進歩し、石油精製の段階では、公害は防止できると言われていますが、あなたは、どう考えましたか。

5、志布志湾の臨海工業地に誘置する企業については、いろいろな意見があるようですが、現在、工場が全くない所に誘置できる企業は、極めて限られており、石油精製工業もその一つに挙げられていますが、あなたは、どう思いますか。

6、臨海工業を誘置する場合、海の埋立が必要ですが、海に埋立がなければ、現在、埋立予定地の一部は、国定公園になっており、場合によっては、国定公園の一部解除も必要になると考えますが、あなたは、これについてどう考えますか。



火災予防運動

十一月二十六日から、「秋の全国火災予防運動」が始まります。

秋から冬にかけては、寒さが厳しく、火を使う機会が多くなります。また、季節風が強くなり、空気も乾燥した天気が多くなり、一年中で最も火災の発生しやすい季節になっています。

ちょっとした不注意から、尊い人命を失ったり、財産を灰にしてしまう火災には、充分注意しましょう。お宅で、次のヶ所は安全であるか点検してみよう。

○プロパンガス
1 ゴムホースはいたんでいないか。
2 ボンベは室外の安全な所に置いてあるか。
3 ガスコンロに異状はないか。

○石油ストーブ
1 置き場所は適当か、
2 油もれ、その他異状はないか。
○電気器具
1 コード式差込が熱をもつことはないか。
2 一本の差込から、何本

も電気をとる「たこ足」配線はやっていないか。
3 安全器のヒューズが、度々とぶようなことはないか。
○風呂場、かまど
1 炊口付近に、燃え易いものが置いてないか。
2 煙突や、かまどがこわれていないか。
3 煙突掃除はしてあるか。
火災シーズン来る



火災シーズン来る

狙いは狩猟鳥獣だけ、

町内の狩猟家のみなさん、待望の狩猟解禁となりました。

来年二月十五日まで、野や山で楽しい狩猟が行われます。

ところが、狩猟期になると、毎年、痛ましい事故が発生します。

※そこで警察から一言警告

一、狩猟前後の鉄砲弾丸は必ず格納庫に保管し、盗難、暴発等の事故防止につとめること。
二、狩猟中は、

西中郡Aチーム二年連続優勝

小組合対抗ソフトボール

十月十日、「体育の日」

スポーツの秋らしく、恒例の小組合対抗ソフトボール大会が、町内七会場でおこなわれました。

本年は、例年より多い44チームが出場し激戦が展開されました。成績は次の通りです。

○3回戦	上柴立(2)	猪鹿倉(5)	鶴園(7)
○準決勝	西中郡A(21)	花瀬官行(9)	馬場(14)
○決勝戦	馬場(5)	花瀬官行(5)	東中郡(10)
西中郡(11)	東中郡(4)	東中郡(10)	東中郡(4)

安全に注意し、狙いは狩猟鳥獣だけです。

三、田畑を通るときは、作物を踏み荒さないよう、気をつけてください。

四、山林、原野で働く人達も猟犬が身辺を走り廻るときは、何等かの方法で自分の所在を狩猟家に知らせてください。

『結婚教室』

学習終了

10月16日(水)、17日(木)、18日(金)、21日(月)、22日(火)の5日間、「健全な結婚生活をおくってもらうために」、鹿屋保健所と田代町青年団連絡協議会の共催により、町内の未婚者を対象に結婚教室が開講されました。

受講者も多く、一回目は36名の受講生でしたが、最終日は47名の受講生となり、5日間の皆勤者は20名、修了証取得者44名となりました。受講生は、5日間熱心に学習し、結婚に対する心構えができたことでしょうか。また、受講生全員により、フォークダンスをして、ほんとうに楽しい有意義のあの学習でした。

原前町長

園遊会に出席

前原町長は、自治功労者として、去る十月三十日、東京都内、赤坂離宮で催された両陛下御主催の園遊会に招待を受け、奥さんと一諸に出席されました。

故日高前教育長

叙勲

日高前教育長は、去る十月五日病氣のため死亡されましたが、この程、生前の功績が認められて従五位、勲五等、双光旭日章が授与されました。

氏は、生前二十数年に亘り教育の現場で活動され、教職を退いた後は、本町教育長として六年在職、町教育行政に大きな功績を残されました。今回の叙勲に対し、町民と共に心からお祝いを申し上げます。

人口のうごき

49.10.1現在	
世帯数	1,510
男	2,262
女	2,618
総計	4,880

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません